

## 晴れの海へ 書簡編

うさぎみたいな君へ

2018年10月24日、今夜は満月だろうか。

地球からはそう見える頃だね。

月面天文台から、君のいるところまでの距離は三十八万七千七百九十一キロメートル。

うん、そうだね。今の時期は平均値と同じくらいの距離なんだ。

去年の春は今より1万キロメートルは近かったのか。

しばらく連絡せずにすまなかった。知っての通り忙しかったが少し落ち着いた。

そろそろこちらへ来る準備は出来ただろうか？

担々麺が好きなあなたへ

あのね、さっき調べたら2017年3月のあの日の月までの距離は

三十七万五千六百六十七キロメートルだったよ。

出会った日の距離は三十七万四千八百二十四キロメートル。

数字が苦手な私がこんな風に表現するなんてさ。

ケプラーに感謝だね。

嘘、否、本当はあなたが数字が得意だから頑張ったの。

研究は進んでいますか？

6分の1の重力の元、思考やアイデアも軽やかに進めて行くことが出来ていますか？

初めて月面を歩いたバズ・オールドリンのように

あなたの研究が未来の人々の轍となるのをいつもここから願っています。

私はと云えば、この春、Yuri's Night をついに企画してちょっとしたパーティを開いたの。

協力してくれる人、参加してくれる仲間ができたよ。

この日の月までの距離は四十万七千三百七キロメートル。

「月を取れ、取損ねても、星に届く」

覚えてる？あの日、ルーズベルト大統領の引用をしてくれたのを思い出したからすぐに動けた。

ふふっ、でもさ、星の方が本当は遠いはずなのにね。

わたしもあなたも深遠なる銀河団、銀河群、その向こうの初期銀河へ思いを馳せ続ける。

14歳の頃の私は宇宙飛行士と天文学者を夢見ていたんだ。

これってさ星の巡り合わせだよ。

その話をした時に、あなたは引用して伝えてくれたよね。

宇宙を夢見て小さな島にいるわたしが勇気をだして初めての旅に出た。

あの日から世界線が変わったのです。

今夜はあなたからの波長レターを受け取る為、部屋をそっと抜け出しました。

そろそろ紅葉の彩りが水面に反射してきたこの場所で。  
あなたは今頃、私のためにグリーゼ229AとBを観測しているのかな。  
わたしはWISE J085510.83-071442.5が好きだよ。星座の話も楽しいね。

私を星に例えると何だろう？

SIMP0136みたいに惑星状自由浮遊天体だったりして。  
M17領域、原始星エンベロープの成長を一緒に見守るように観測もしてみたいな。

ご機嫌な時には口笛を吹いてた。その音が耳に残る。  
そういえば先日宇宙の音を聴いたの。  
プラズマ派を音に変換するなんてロマンチックだよね。  
そろそろ眠ります。おやすみなさい。

送信をタップしてまだ温かいジャスマンティーを一口。  
太陽系惑星チョコレートのひとつ頬張りながら車を降りる。  
鈴の様な音が秋の心地よい風に運ばれて、私はいつものように空を仰ぐ。  
大型アンテナを右側に構図を決めて三脚の調整をしていく。  
ピントは、いて座A\*の方向へ。  
天の川銀河を包む様にリモートスイッチをゆっくり押す。  
バルブ撮影の設定秒数とあなたからのデータ受信にかかる秒数は同じにしてみる。  
ふふっと頬が緩む。  
この写真があなたに届く頃、私はその時間を計算しているあなたを想像している。

チョコレートの好きなあなたへ

明朝、宇宙艇に乗ります。  
こちらは銀色の穂が煌めく季節になりました。  
離れてからの時間を計算してみたら46,000,800秒。  
何度目の満月になるんだろう。  
でも、もうすぐ会えるね。素敵な船を用意してて。

『虹の入江を渡り  
コペルニクスの丘陵で待つ君の元へ。  
2人で既知の海から  
雲の海を航海しティコを目指す。  
美しいチェーンを経て  
神酒の海でお祝いし豊かの海へ。  
泡の海で微笑んで  
静かの海で手を繋ぎ  
晴れの海へ走り出す。  
アリストテレスに会いに行こうよ。  
月を見るといつも君を思うの。』

私からの波長レターの返事を送ります。  
地球から愛を込めて。

ケプラーに伝えたいのは、彼と同じ軌道へ導いてくれたことへの感謝。  
ガリレオに伝えたいのは、二人の逢瀬への旅を400年前に示してくれたことへの感謝  
アインシュタインへの手紙は、また今度。

20181029